再評価

要点審議事業

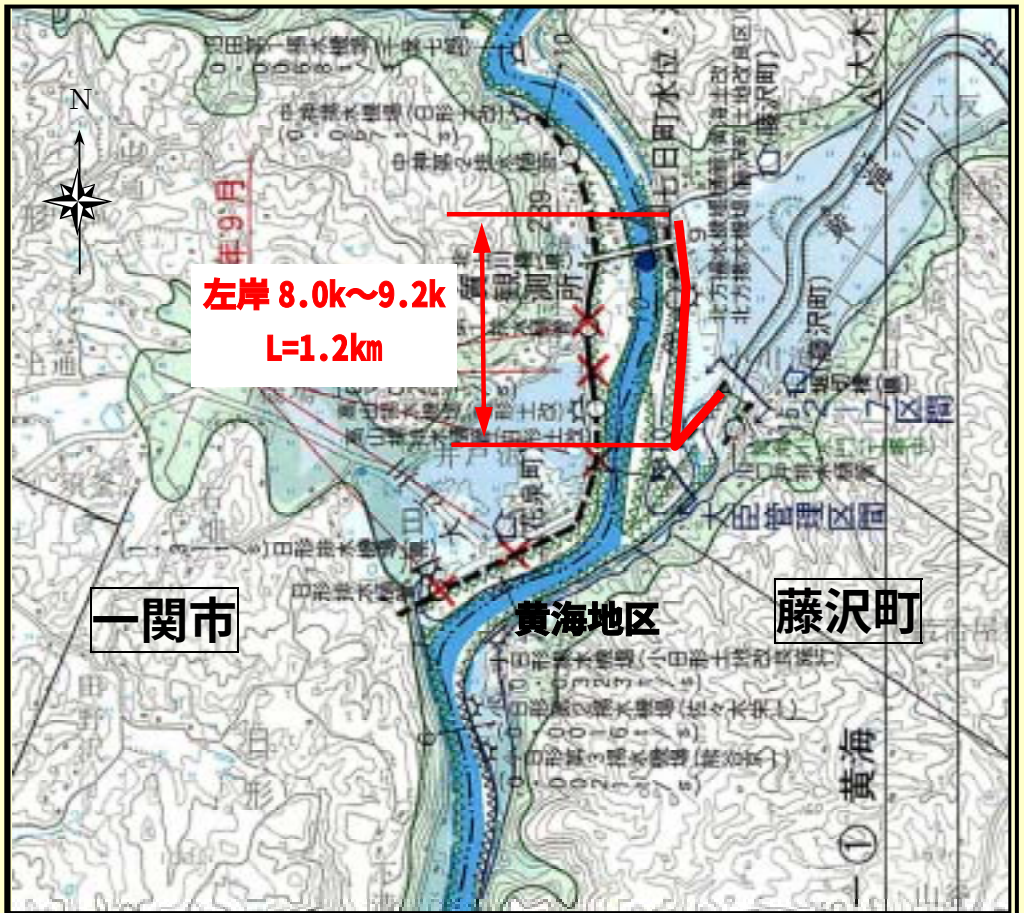
北上川上流直轄河川改修事業

（黄海地区）

《 黄海地区河川改修事業 位置図》

● 事業の目的

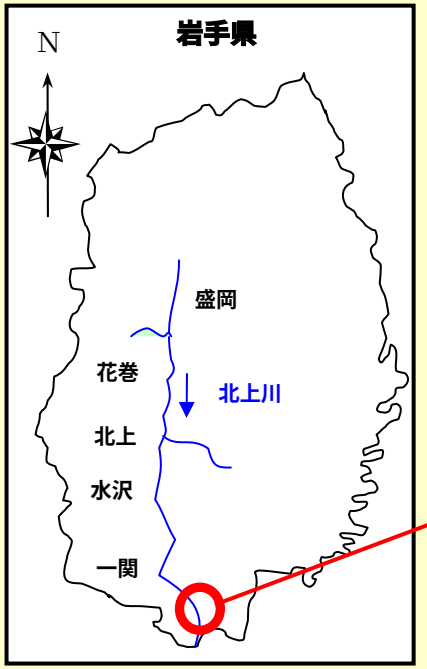
本事業は、黄海地区において昭和６３年から洪水の氾濫防止を目的として、断面が不足する弱小堤の堤防拡幅工事を進めている。



・事業内容
　事業化　：昭和６３年度
　用地着手：昭和６３年度
　工事着手：昭和６３年度

・改修内容
　築堤　L=1.2km
　水門　１基

・事業費　８３億円



《事業内容》

●事業前（堤防拡幅前）

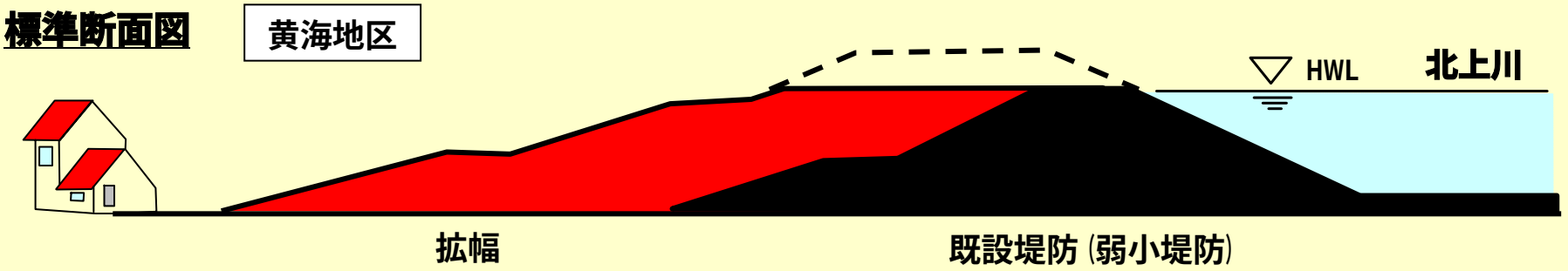


●事業中（堤防拡幅状況）



● 対策工法の概要

標準断面図



《過去の洪水における被災状況》

発生年月日	2日雨量	浸水面積	浸水戸数
昭和22年9月14日 (カスリン台風)	187mm	550 ha	311戸
昭和23年9月15日 (アイオン台風)	161mm	529 ha	205戸
昭和56年8月21日	149mm	75 ha	0戸
昭和62年8月16日	161mm	90 ha	0戸

※２日雨量は狐禅寺基準地点の流域平均２日雨量

※昭和２２年、昭和２３年洪水の被害は旧黄海村全体の外水氾濫被害

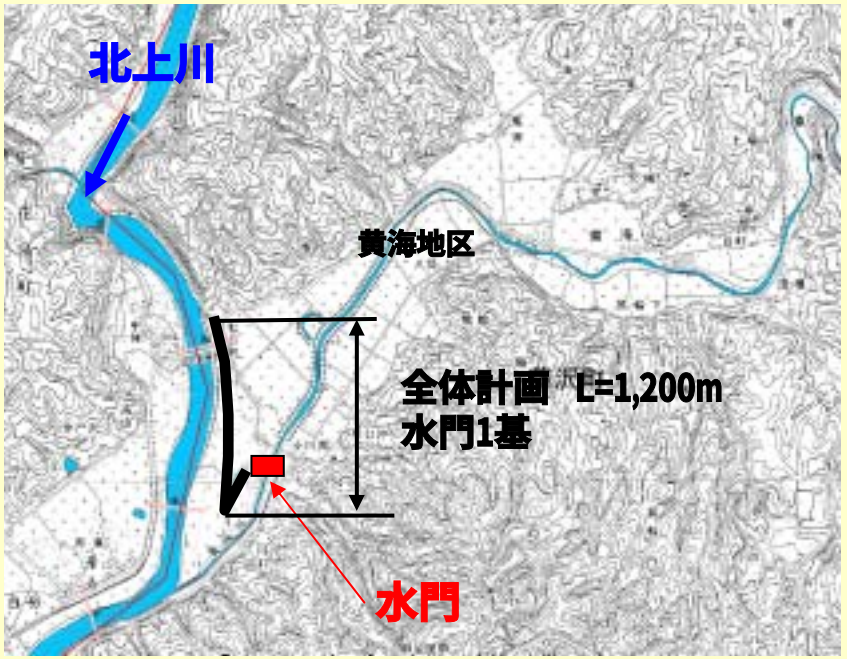
《 事業の進捗状況》

● 事業の進捗状況

- 当該事業のうち堤防拡幅については、平成１９年度完成予定。
- 水門についても諸元を検討中であり、平成２０年代後半に事業完了予定。

● 今後の見通し

- 現在策定中の河川整備計画の中で水門についても諸元を検討中であり、今後、整備予定。



区分	残事業	年度				
		H17	H18	H19	H20	H21～
堤防拡幅			工事			
支川処理	水門１基					
整備計画						

当初
変更

全体事業費	～H18	H19	H20～
８３億円 (進捗率)	３０億円 (３６.１%)	１億円 (３７.３%)	５２億円 (６２.７%)

※H１９堤防拡幅完了

《 費用対効果分析》

● 費用対効果分析

		金額等
Ｃ費用	建設費（治水分）	８６.６億円
	維持管理費	０.３億円
	費用合計	８６.９億円
Ｂ効果	便益（治水分）	１６０.８億円
	残存価値	５.１億円
	効果合計	１６５.９億円
費用便益比（ＣＢＲ）　Ｂ／Ｃ		１．９
純現在価値（ＮＰＶ）　Ｂ－Ｃ		７９.０億円
経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）		７.４ ％

※「治水経済調査マニュアル（案）」に基づきＢ／Ｃの検討

《対応方針》

原案：　事業継続

理由：　黄海地区は浸水被害が度々発生する治水安全度が低い地域である。このため、堤防拡幅を実施し、治水安全度の向上を図り、地域住民が安心して暮らせる環境を早急に整える必要がある。